



Title	学会消息
Author(s)	
Citation	大阪大学経済学. 2025, 75(1・2), p. 32-52
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/102770
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

学 会 消 息

(2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日)

人 事 異 動

佐々木勝教授は、2024 年 4 月 1 日付けをもって本研究科長・本学部長に就任した。

金熙珍は、2024 年 4 月 1 日付けをもって東北大学大学院経済学研究科准教授から本研究科教授に採用された。

Chien-Tzu Cheng は、2024 年 4 月 1 日付けをもってオハイオ州立大学経済学部博士研究員から本研究科講師に採用された。

Saisawat Samutpradit は、2024 年 4 月 1 日付けをもって東京大学政策評価研究教育センター特任研究員から本研究科講師に採用された。

山本和博教授は、2024 年 9 月 20 日付けをもって本研究科を退職し、同志社大学経済学部教授となつた。

佐藤秀昭講師は、2024 年 10 月 1 日付けをもって本研究科准教授に昇任した。

堂目卓生教授は、2025 年 3 月 31 日付けをもって本研究科を定年退職し、大阪大学社会ソリューションイニシアティブ長となつた。

福重元嗣教授は、2025 年 3 月 31 日付けをもって本研究科を退職し、中央大学総合政策部教授となつた。

Benjamin Michel Claude Poignard 准教授は、2025 年 3 月 31 日付けをもって本研究科を退職し、慶應義塾大学理工学部数理科学科准教授となつた。

加藤明久講師は、2025 年 3 月 31 日付けをもって本研究科を退職し、関西大学経済学部助教となつた。

鶴田まなみ助教は、2025 年 3 月 31 日付けをもって本研究科を退職し、千葉商科大学総合政策学部講師となつた。

Mingqi Ye 助教は、2025 年 3 月 31 日付けをもって本研究科を退職し、兵庫県立大学国際商経学部講師となつた。

学会・講演会行事

恒例の経済学会講演会が、下記の通り開催された。

日時 2024 年 11 月 7 日

場所 法経講義棟 1 番講義室

講師 演出家 (TS ミュージカルファンデーション／梅花女子大学) 謝 珠栄 氏

演題 舞台作りに觸わり、導かれた人生

◇教員が、2024 年度に発表した著書および論文、研究報告等と、受け又は任せられた学位、学術賞、学外活動は、下記のとおりである。

鳩澤 歩

[著書]

- 鳩澤歩 (2024 年 11 月). 「ドイツ鉄道史」「鉄道都市・ベルリン」「鉄道と『経済成長の黄金時代』」「ドイツ国鉄の総裁たち」老川慶喜・小野田滋・柿崎一郎・高嶋修一・鳩澤歩・渡邊恵一編『鉄道史大事典』(海外の鉄道史 欧米 II-9 pp. 259–260, II-17 pp. 278–279, II-26 pp. 301–302, コラム column-1 pp.314–315). 朝倉書店.
- 鳩澤歩 (2024 年 11 月). 「欧米」「アフリカ・ラテンアメリカ」(編集). 老川慶喜・小野田滋・柿崎一郎・高嶋修一・鳩澤歩・渡邊恵一編『鉄道史大事典』(海外の鉄道史 pp.240–336). 朝倉書店.

[論文]

- 鳩澤歩 (2024 年 12 月). 「戦間期在ベルリン日本人鉄道職員—「ドイツ経験」は何をもたらしたか」『大阪大学経済学』74 (1・2・3), 1–22.

[研究報告・研究発表]

- 鳩澤歩 (2024 年 5 月 12 日). 「ドイツ経済史研究におけるクリオメトリックス (Kliometrie)」[パネル・ディスカッション「ドイツ経済史研究の回顧と展望：日本からの観察と発信」]. 社会経済史学会第 93 回全国大会, 東京都立大学.

[学外活動]

- 鉄道史学会 理事 編集委員会委員, 任命権者・鉄道史学会長, 2021 年 4 月 1 日–. (継続)
- 社会経済史学会 理事 編集委員会委員, 任命権者・社会経済史学会代表理事, 2023 年 10 月 1 日–. (継続)
- 関西大学商学部 非常勤講師, 任命権者・関西大学学長, 2024 年 4 月 1 日–.
- 放送大学 客員教授, 任命権者・放送大学学長, 2024 年 4 月 1 日–.

Wirawan Dony Dahana

[論文]

- Pham, L. T., Kumar, P., Dahana, W. D., & Nguyen, H. D. (2024, May). Advancing sustainable development through planetary health – A holistic approach to global health: A systematic review. *Environmental Science & Policy*, 155, 103709.
- Wu, Y., Lin, Q., Zhang, T., Dahana, W. D., & Li, X. (2024, July). Interplay of multilingual packaging products on tourists' affective and cognitive responses in the context of ocean and coastal tourism: The evidence from Greater Bay Area (GBA). *Ocean & Coastal Management*, 253, 107131.
- Baumann, C., Knowles, J., Timming, A. R., Price, D. P., Dahana, W. D., & Shen, Y. (2024, September). Necro-branding: Elvis Presley as a necro-celebrity. *Celebrity Studies*, 1–28. (Online)
- Dahana, W. D., Igarashi, M., Sakiyama, R., & Zhou, J. (2024, December). Impact of on-topic and off-topic discussions on member participation and contribution in a common-identity online community. *Telematics and Informatics Reports*, 16, 100172.
- Zhou, J., Sakiyama, R., Ye, M., & Dahana, W. D. (2025, January). Impact of online food delivery usage on switching costs, variety seeking and marketing exposure. *British Food Journal*, 1–16. (Online)
- Sjuchro, D. W., Surachman, A. Y., Dahana, W. D. & Nurfauziah, I. (2025, February). Building brand loyalty through community. *Prosesi Humas*, 9 (2), 222–242.

[学外活動]

日本マーケティング・サイエンス学会 編集委員, 任命権者・日本マーケティング・サイエンス学会代表理事, 2021年4月1日-. (継続)

日本マーケティング・サイエンス学会 理事, 任命権者・日本マーケティング・サイエンス学会代表理事, 2023年7月1日-. (継続)

堂目 卓生

[研究報告・研究発表]

堂目卓生 (2024年6月8日). 「目指すべき社会を考える—アダム・スミスを起点にして」ナレッジフォーラム, 一橋大学如水会館.

堂目卓生 (2024年8月21日). 「共助社会と共感経済一人ひとりが地球の上で生かされている「いのち」の意識に立って」滋賀経済同友会夏季セミナー2024, 琵琶湖ホテル.

堂目卓生 (2024年9月13日). 「開かれた共感でつくる共助社会—アダム・スミスを起点に」APIR・都市レベルDX研究会フォーラム, グランフロント大阪.

堂目卓生 (2024年10月17日). 「すべてのいのちが輝く未来社会に向けて私たちがとるべきアクション—「いのち会議」に見る社会課題の解決に向けた取り組み」CTC Forum 2024, グランドプリンスホテル新高輪国際館パミール.

堂目卓生 (2024年10月26日). 「「いのち」を大切にする社会を目指して—「いのち会議」と「いのち宣言」」日本万国博覧会記念公園シンポジウム2024, 国立民族学博物館.

Dome, T. (2024, December 4). *Aiming for a mutual-aid society based on Inochi*. JSPS-RSE Symposium, Edingburgh University.

堂目卓生 (2025年1月16日). 「EXPO2025 からその先へ～すべてのいのちが輝く地球を目指して～」シンポジウムEXPO2025, 中之島センター.

堂目卓生 (2025年1月28日). 「共助社会と共感経済～アダム・スミスを起点として～」第7回JPAエグゼクティブセミナー2024「ビジネスと人権」研究会, アミタホールディングス株式会社.

[学外活動]

日本学術会議 連携会員, 任命権者・日本学術会議, 2023年10月1日-. (継続)

Pierre-Yves Donzé

[著書]

Donzé, P.-Y. & Yongue, J. S. (2024, May). *Japanese capitalism and entrepreneurship: A history of business from the Tokugawa era to the present*. Oxford University Press.

Donzé, P.-Y. (2024, June). Japanese trading companies and hospital business in Asia since 2000. In Fernández, P. (Ed.), *Business history of hospitals in the 20th century: Entrepreneurship, organization, and finances* (pp. 147–159). Springer.

Donzé, P.-Y. (2024, June). Birkenstock in Japan. In Andrea H. Schneider-Braunberger (Ed.) *Birkenstock: The evolution of a universal purpose and zeitgeist brand* (pp. 345–352). Prestel.

Donzé, P.-Y. (2025, January). *Die exzellenzfabrik - Wie Rolex zur weltmarke wurde*. Versus.

[論文]

Hirano, T., Sakai, K., & Donzé, P.-Y. (2024, October). Housewives and the growth of the Japanese electrical appliance industry, 1950–1990. *Business History Review*, 98 (2), 389–416.

Araujo, P., Davoine, E., & Donzé, P.-Y. (2024, October). Banking elites and the transformation of

- capitalism in Switzerland: A prosopographic analysis (1890–2020). *Business History*, 66 (7), 1862–1887.
- Zhang, J., & Donzé, P.-Y. (2024, December). Knowledge upgrade in the Chinese apparel industry, 1980–2020. *Enterprise & Society*, 25 (4), 1160–1189.
- [書評]
Donzé, P.-Y. (2024, August). Book review [*The rise and decline of England's watchmaking industry, 1550–1930*. Alun Davies, (Routledge, 2024. pp. 414. 21 B/W images. ISBN 9781032131351, Pbk £39.99)]. *The Economic History Review*, 77 (3), 1110–1111.
- [研究報告・研究発表]
Donzé, P.-Y. (2024, July 12). *Global competition and design management in the watch industry: Rolex vs. Seiko, 1920–2020*. Annual Conference of the European Business History Association, Lisbon, Portugal.
- Donzé, P.-Y. (2024, July 12). *The healthcare industry*. Annual conference of the European Business History Association, Lisbon, Portugal.
- Donzé, P.-Y., & Alvaro-Moya, A. (2024, July 13). *Japanese FDI in Spain, 1965–2020: An exploratory study*. Annual conference of the European Business History Association, Lisbon, Portugal.

- [学外活動]
Associate editor, *Journal of Evolutionary Studies in Business*, 任命権者・Editor in chief, 2016年1月1日－. (継続)
Visiting Professor, University of Fribourg, Switzerland, 任命権者・Dean of the Faculty of Letters, 2017年2月1日－. (継続)
Co-editor, *Business History*, 任命権者・Editor in chief, 2021年1月2日－. (継続)
Secretary, the European Business History Association (EBHA), 任命権者・Elected by the council, 2022年1月1日－. (継続)
Visiting professor, EM Normandie Business School, France, 2022年2月1日－. (継続)
経営史学会国際交流委員会会長, 任命権者・経営史学会会長, 2023年1月1日－2024年12月31日.

福重 元嗣

- [論文]
Fukushige, M. (2024, August). Variable selection for ordered categorical data in regression analysis: Information criteria vs. lasso. *Research in Statistics*, 2 (1), 2382484. (Online)
- Iida, K., & Fukushige, M. (2025, February). Additional neighborhood effects following renovation of historical heritage: An empirical investigation of the case of Himeji Castle. *International Journal of Economic Policy Studies*, 19 (1), 183–208.
- Mori, K., & Fukushige, M. (2025, February). Estimation of the market competitiveness of kelp by municipality in Hokkaido. *International Journal of Economics and Finance*, 17 (4), 1.
- [研究報告・研究発表]
森邦恵・福重元嗣 (2024年5月19日). 「北海道産昆布における産地別市場競争力の分析」日本経済政策学会全国大会, 熊本学園大学.
- [学外活動]
日本応用経済学会 常務理事, 任命権者・日本応用経済学会, 2010年6月－. (継続)
日本学術会議 連携会員, 任命権者・日本学術会議, 2014年10月1日－. (継続)
日本経済学会 監事, 任命権者・日本経済学会, 2020年5月－2024年5月.

日本経済政策学会 会長, 任命権者・日本経済政策学会, 2022年5月- . (継続)
 応用地域学会 運営委員, 任命権者・応用地域学会, 2022年7月1日- . (継続)
 日本国際経済学会 常務理事, 任命権者・日本国際経済学会, 2022年10月- 2024年10月.

福田 祐一

[学外活動]

Associate Editor, *Asia-Pacific Financial Markets*, 任命権者・日本金融・証券計量・工学学会, 2012年5月- . (継続)

開本 浩矢

[著書]

開本浩矢・和多田理恵 (2024年11月). 『クリエイティビティ・マネジメント：創造性とは何か：定義・測定・機能とビジネスへの架橋』(改訂版). 白桃書房.
 上林憲雄・奥林康司・團泰雄・開本浩矢・森田雅也・竹林明・中村志保 (2024年12月). 『経験から学ぶ経営学入門』(第3版). 有斐閣.

[研究報告・研究発表]

平丸大介・開本浩矢 (2024年11月10日). 「REACHプロジェクトにおける社会関係資本の拡充とその要因」日本経営行動科学学会, 大阪公立大学.

[学外活動]

兵庫県男女共同参画審議会 委員, 任命権者・兵庫県知事, 2016年2月1日- . (継続)
 日本学術会議 連携会員, 任命権者・日本学術会議会長, 2017年10月1日- . (継続)
 宝塚市男女共同参画推進審議会 委員, 任命権者・宝塚市長, 2018年4月1日- . (継続)
 神戸市男女共同参画審議会 委員, 任命権者・神戸市長, 2018年7月1日- . (継続)
 兵庫県資金管理委員会 委員, 任命権者・兵庫県知事, 2021年4月1日- . (継続)
 関西生産性本部人材開発委員会 委員, 任命権者・関西生産性本部会長, 2021年4月1日- . (継続)

廣田 誠

[その他]

廣田誠 (2024年6月). 「阪神電気鉄道とタイガース・甲子園球場」『都市と公共交通』48, 15-24
 廣田誠・松永和浩 (2024年12月). 「第一二回（令和五年度）適塾見学会の記録」『適塾』57, 73-87.

廣田誠 (2025年2月). 「問題提起」[2024年度年次大会共通論題「物流問題と企業家活動」]. 『企業家研究』25, 45-48

廣田誠 (2025年2月). 「2024年度「企業家に聞く 第1回」—ブリーフ・レポート—」『企業家研究』25, 96-98.

[研究報告・研究発表]

廣田誠 (2024年7月21日). 「問題提起」[2024年度年次大会共通論題「物流問題と企業家活動」]. 企業家研究フォーラム第22回年次大会, 大阪産業創造館.

[学外活動]

市場史研究会 事務局世話人, 任命権者・市場史研究会代表, 2000年7月1日- . (継続)
 神戸女学院大学人間科学部 非常勤講師, 任命権者・神戸女学院大学学長, 2002年4月1日- . (継続)
 『経済史研究』(大阪経済大学日本経済史研究所) 編集委員, 任命権者・大阪経済大学日本経済史研究所所長, 2014年3月1日- . (継続)

企業家研究フォーラム 理事、任命権者・企業家研究フォーラム会長、2015年7月18日－. (継続)
 阪和育英会 理事、任命権者・阪和育英会理事長、2016年7月1日－. (継続)
 龍谷大学経営学部 非常勤講師、任命権者・龍谷大学学長、2018年4月1日－. (継続)
 企業家研究フォーラム 副会長(企画委員長)、企業家研究フォーラム会長、2021年7月10日－
 2024年7月20日.
 社会経済史学会 評議員、任命権者・社会経済史学会代表理事、2023年1月1日－. (継続)
 企業家研究フォーラム 副会長(学会賞委員長)、企業家研究フォーラム会長、2024年7月20日－.
 鉄道史学会 理事、任命権者・鉄道史学会、2024年12月1日－.

五十嵐 未来

[論文]

Dahana, W. D., Igarashi, M., Sakiyama, R., & Zhou, J. (2024, December). Impact of on-topic and off-topic discussions on member participation and contribution in a common-identity online community. *Telematics and Informatics Reports*, 16, 100172.

[研究報告・研究発表]

Igarashi, M., Terui, N. & Sato, T. (2024, June 9). *A co-evolution model of network formation and content generation on social reading platform*. 日本マーケティング・サイエンス学会、名城大学.
 Igarashi, M., Hasegawa, S., Onishi, H., & Sakai, O. (2024, June 27). *How do consumers respond to chatbot anthropomorphism on a cosmetic EC website*. 46th ISMS Marketing Science Conference, International Convention Centre.
 Igarashi, M., Terui, N. & Sato, T. (2025, March 8). *A Co-evolution model of network formation and content generation*. 第19回日本統計学会春季集会、筑波大学.

石黒 真吾

[研究報告・研究発表]

Ishiguro, S. (2024, November 1). *Relational contracts and subjective evaluations with endogenous wealth accumulation*. New Economic School 定例研究会. (オンライン)
 Ishiguro, S. (2025, January 11). *Addiction and illegal markets*. Contract Theory Workshop, 大阪経済大学.

祝迫 達郎

[論文]

Iwaisako, T., & Tanaka, H. (2024, October). Tariffs and foreign direct investment in a dynamic North-South model. *Journal of Money, Credit and Banking*. (Online)
 Iwaisako, T. (2025, January). Welfare-maximizing patent length in a dynamic general equilibrium model. *Oxford Economic Papers*, 77 (1), 19–41.

[学外活動]

Associate Editor, *Economic Modelling*, 任命権者・Editor, *Economic Modelling*, 2020年4月21日－. (継続)
 Associate Editor, *Journal of Economics*, 任命権者・Editor, *Journal of Economics*, 2023年5月12日－. (継続)
 日本経済学会 2024年度春季大会プログラム委員、任命権者・2024年度春季大会プログラム委員長、
 2023年10月－2024年5月.

笠原 晃恭

[研究報告・研究発表]

Kasahara, A., & Yamada, M. (2024, August 11). *How effective are volatility interruptions?: Evidence from the Tokyo stock exchange.* SWET2024 ファイナンス・国際金融, 北海道大学.

Kasahara, A., & Yamada, M. (2024, November 9). *Effectiveness of volatility interruptions: Evidence from the Tokyo stock exchange.* 2024 年度日本ファイナンス学会第 6 回秋季研究大会, 九州大学.

加藤 隼人

[論文]

Haufler, A., & Kato, H. (2024, April). A global minimum tax for large firms only: Implications for tax competition. *RIETI Discussion Paper Series*, 24-E-051.

[研究報告・研究発表]

Kato, H. (2024, May 10). *Structural change in the global economy.* マクロ経済学研究会, 大阪大学.

Kato, H. (2024, June 17). *Structural change in the global economy.* Yonsei Trade Workshop, Yonsei University.

Kato, H. (2024, June 19). *A global minimum tax for large firms only: Implications for tax competition.* Korean Economics Review Conference, Alpensia Convention Center.

Kato, H. (2024, June 30). *Structural change in the global economy.* Asia Pacific Trade Seminars, Chulalongkorn University.

Kato, H. (2024, July 3). *Structural change in the global economy.* Seminar, Institute of Economics, Academia Sinica.

Kato, H. (2024, September 14). *Structural change in the global economy.* European Trade Study Group, Athens University of Economics and Business.

Kato, H. (2024, October 5). *A global minimum tax for large firms only: Implications for tax competition.* 日本国際経済学会全国大会, 神戸大学.

Kato, H. (2024, December 7). *Welfare effects of automation with redistributive taxes and capital mobility.* The 1st Sino-Japanese SPACE Workshop, Osaka University.

Kato, H. (2024, December 23). *A global minimum tax for large firms only: Implications for tax competition.* Korea International Economic Association, Winter Conference, University of Seoul.

Kato, H. (2025, February 21). *Structural change in the global economy.* The 17th FIW-Research Conference 'International Economics', Vienna University of Economics and Business.

[学術賞]

加藤隼人 (2024 年 10 月). 第 14 回特定領域研究奨励賞 (小田賞), 日本国際経済学会.

勝又 壮太郎

[論文]

Yi, Y., Wang, W., Karimi, S., Katsumata, S., & Meng, L. (2024, July). Keeping distance! How infectious disease threat lowers consumers' attitudes toward densely displayed products. *Psychology & Marketing*, 41 (7), 1549–1561.

Nishimoto, A., & Katsumata, S. (2024, July). The value-enhancing effects of psychological ownership of payment methods on consumers' spending and receiving behavior. *Quarterly Journal of Marketing*, 44 (1), 58–67.

Zeng, Y., Katsumata, S., Zhang, Q., & Li, X. (2024, October). Organizational inclusion and sustainable

- development: An empirical evidence from the context of Eastern culture. *Sustainable Development*, 32 (5), 4916–4930.
- Sui, Y., Katsumata, S., Lin, Q., Wang, Y., & Li, X. (2024, November). Reinvigorating radioactive wastewater to the ocean: Investigate the effect of board diversity on environmental corporate social responsibility in the context of Japan. *Ocean & Coastal Management*, 257, 107315.
- Zeng, Y., Katsumata, S., Li, X., & Zhang, Q. (2025, February). Supplier-buyer (in)congruence in environmental management accounting for sustainable development in the context of Japan. *Sustainable Development*, 33 (1), 84–99.
- Akiike, A., Katsumata, S., Yoshioka-Kobayashi, T., & Baumann, C. (2025, February). How “smart” should smart products look? Exploring boundary conditions of the Most-Advanced-Yet-Acceptable (MAYA) principle. *Journal of Business Research*, 189, 115108.

[研究報告・研究発表]

- Katsumata, S., & Takahashi, K. (2024, July 6). *A combined topic model for unstructured and structured data*. The 46th ISMS Marketing Science Conference, Australia, Sydney.
- Shimizu, C., & Katsumata, S. (2024, December 4). *Assessing the outcomes of digital transformation via media exposure*. ISPIM Innovation Symposium, 2024, Kansai University.
- Michel-Meekman, A. B., & Katsumata, S. (2024, December 4). *Social innovation intention in enterprises: A 17-UN SDG-based empirical approach*. ISPIM Innovation Symposium, 2024, Kansai University.

[学外活動]

- 行動計量学会 和文誌編集委員, 任命権者・日本行動計量学会, 2015年5月25日-. (継続)
- 日本マーケティング学会 ジャーナル編集委員, 任命権者・日本マーケティング学会, 2019年4月1日-. (継続)
- 日本マーケティング・サイエンス学会 理事, 任命権者・日本マーケティング・サイエンス学会, 2019年7月1日-. (継続)
- 組織学会『組織科学』シニアエディター, 任命権者・組織学会, 2019年10月1日-. (継続)
- 日本消費者行動研究学会 理事, 任命権者・日本消費者行動研究学会, 2023年12月1日-. (継続)

金 熙珍

[研究報告・研究発表]

- 金熙珍 (2024年7月20日). 「海外子会社による国際化：デンソーカンボジアの事例」国際ビジネス研究学会関西部会, 関西大学.

[学外活動]

- 国際ビジネス研究学会 理事, 任命権者・国際ビジネス研究学会, 2022年4月-. (継続)
- 国際ビジネス研究学会 学会誌編集委員, 任命権者・国際ビジネス研究学会, 2022年4月-. (継続)

高 東也

[研究報告・研究発表]

- Koh, D. (2024, April 26). *On the welfare cost of constrained female labor supply*. Department Seminar, Singapore Management University.
- Koh, D. (2024, May 7). *On the welfare cost of constrained female labor supply*. 明治大学経済学ワークショップ, 明治大学.
- Koh, D. (2024, May 18). *On the welfare cost of constrained female labor supply*. 京都大学マクロ経済学セミナー, 京都大学.

- Koh, D. (2024, May 27). *On the welfare cost of constrained female labor supply*. Seminar at Academia Sinica, Taiwan.
- Koh, D. (2024, June 19). *On the welfare cost of constrained female labor supply*. The 2024 Korean Economic Review (KER) International Conference, Alpensia Convention Center, PyeongChang.
- Koh, D. (2024, August 9). *On the welfare cost of constrained female labor supply*. Quantitative Macro in the SWET 2024, 北海道大学.
- Koh, D. (2024, October 20). *Spousal labor supply as insurance: Cross-country comparison*. 日本経済学会秋季大会, 福岡大学.
- Koh, D. (2024, November 21). *Countercyclical elasticity of substitution*. KER-JER Workshop, GRIPS.
- Koh, D. (2024, November 22). *On the welfare cost of constrained female labor supply*. 関西労働研究会, アジア太平洋研究所.
- Koh, D. (2024, December 26). *On the welfare cost of constrained female labor supply*. 第 92 回 RoMacS セミナー, 神戸大学.
- Koh, D. (2025, February 7–8). *The dynamics of intra-household bargaining power*. T2S Macro Workshop, Korea University.

松井 博史

[論文]

児玉謙太郎・牧野遼作・甲斐田俊・松井博史・山田英治・大海悠太 (2024 年 9 月). 「オンライン・コミュニケーション研究のための動作計測技術の検討—OpenPose と OptiTrack の比較—」『人間科学研究』37(2), 243–252.

[研究報告・研究発表]

松井博史 (2024 年 8 月 30 日). 「教育相談におけるキャリア支援—スクールカウンセラーのライフプランニングの観点から—」世田谷区任用スクールカウンセラーグループ企画演習, 世田谷区尾山台中学校.

植野剛・松井博史・福村祐誠・井上悠人・鹿内学 (2024 年 8 月 31 日). 「1 on 1 ミーティングにおける傾聴の効果」産業組織心理学会第 39 回大会, 文教大学.

松井博史 (2024 年 8 月 31 日). 「地域における信頼の効果」産業組織心理学会第 39 回大会, 文教大学. 植野剛・松井博史 (2024 年 12 月 9 日). 「1 on 1 ミーティングにおける傾聴の効果」学術越境による社会実装をめざした企業の心理学研究, 京都大学.

松井博史 (2025 年 2 月 10 日). 「ポジティブ心理学やライフデザインの産業領域などへの適用について」慶應義塾大学マインドフルネス＆ストレス研究センター. (オンライン)

松井博史 (2025 年 2 月 12 日). 「ウェルビーイング 理解と実践のステップ」世田谷区学び舎, 世田谷区仲町小学校ホール.

松村 真宏

[研究報告・研究発表]

松村真宏・藤本森峰・中津壮人 (2025 年 2 月 8 日). 「阪大名物マチカネワニカレーの開発」第 15 回仕掛学研究会, 大阪大学豊中キャンパス.

趙嘉韻・松村真宏 (2025 年 2 月 8 日). 「反転再反転ポスターが通行人に及ぼす影響」第 15 回仕掛学研究会, 大阪大学豊中キャンパス.

豊泉有理・松村真宏 (2025 年 2 月 8 日). 「加速体感型羽根型路面表示」第 15 回仕掛学研究会, 大阪大学豊中キャンパス.

- 上野航輔・松村真宏 (2025年2月8日). 「スワイプ型アンケート箱を用いた回答率向上の試み」
第15回仕掛学研究会, 大阪大学豊中キャンパス.
- 川野蒼弥・松村真宏 (2025年2月8日). 「音チ(アンチ)歩きスマホ」第15回仕掛学研究会,
大阪大学豊中キャンパス.
- 米雪児・松村真宏 (2025年2月8日). 「歩きスマモン看板」第15回仕掛学研究会, 大阪大学豊
中キャンパス.
- 奥野椋・松村真宏 (2025年2月8日). 「お悩みキャッチャー」第15回仕掛学研究会, 大阪大学
豊中キャンパス.
- 佐藤謙獎・松村真宏 (2025年2月8日). 「ピコピコハンマーアンケート」第15回仕掛学研究会,
大阪大学豊中キャンパス.
- 平野太陽・松村真宏 (2025年2月8日). 「接客パペット」第15回仕掛学研究会, 大阪大学豊中
キャンパス.
- 山脇聰太・松村真宏 (2025年2月8日). 「覗くとさかのほる道画」第15回仕掛学研究会, 大阪
大学豊中キャンパス.
- 成田尚宣・松村真宏 (2025年2月8日). 「ついフタをしめたくなるトイレの仕掛け」第15回仕
掛学研究会, 大阪大学豊中キャンパス.
- 岸田陸・松村真宏 (2025年2月8日). 「エア抜きポンプによるペットボトル圧縮行動の促進」
第15回仕掛学研究会, 大阪大学豊中キャンパス.
- 羽根百峰・松村真宏 (2025年2月8日). 「仮説検証看板によるごみ捨てマナー向上を促す仕掛け」
第15回仕掛学研究会, 大阪大学豊中キャンパス.
- 応嘉誠・松村真宏 (2025年2月8日). 「1段7秒ポスターによる階段利用促進」第15回仕掛学研究会,
大阪大学豊中キャンパス.
- [学外活動]
人工知能学会評議員, 任命権者・人工知能学会, 2024年6月1日-.

三輪 一統

- [研究報告・研究発表]
三輪一統・椎葉淳 (2025年1月12日). 「分権的組織におけるプレアナウンスメントのバイアス
と正確度」日本経済会計学会第5回秋季大会, 東北学院大学.
- [学外活動]
Associate Editor, *The Japanese Accounting Review*, 任命権者・Editor, *The Japanese Accounting Review*,
2019年5月1日-。(継続)

村宮 克彦

- [著書]
村宮克彦 (2024年7月). 「農業 (IAS41)」桜井久勝編著『テキスト国際会計基準』(新訂第2版,
第27章). 白桃書房.
- [論文]
村宮克彦 (2025年2月). 「資本市場研究の展開」[財務会計の機能: 実証研究の現在地と未来,
第2回]. 『企業会計』77(2), 246-254.
- 村宮克彦 (2025年3月). 「日本企業の投資行動: WACC の役割」『経営研究』75(4), 99-120.
- [研究報告・研究発表]
村宮克彦 (2024年7月6日). 「マジック8 - ROE8%超プレミアムの検証」第58回東北学院大学

経営研究所研究会, 東北学院大学.

村宮克彦 (2024年8月28日). 「資本市場研究の展開」[統一論題: 財務会計の機能—実証研究の展開]. 日本経済会計学会 (アカウンティング・ウィーク 2024), 早稲田大学.

[学外活動]

日本経営財務研究学会 評議員, 任命権者・日本経営財務研究学会, 2019年9月1日-. (継続)
行動経済学会 学会誌『行動経済学』編集委員, 任命権者・行動経済学会, 2019年11月1日-. (継続)
日本経営財務研究学会 学会誌『経営財務研究』編集委員, 任命権者・日本経営財務研究学会, 2021年1月1日-. (継続)

日本経済会計学会 学会誌『現代ディスクロージャー研究』編集委員, 任命権者・日本経済会計学会, 2021年4月1日-. (継続)

日本経営財務研究学会 学会賞選考委員, 任命権者・日本経営財務研究学会, 2022年9月1日-. (継続)

日本経済会計学会 常務理事, 任命権者・日本経済会計学会, 2024年4月1日-.

日本証券業協会 JSDA キャピタルマーケットフォーラム研究委員, 任命権者・日本証券業協会, 2024年10月1日-.

西原 理

[論文]

Nishihara, M., Shibata, T., & Chevalier-Roignant, B. (2024, April). Effects of a debt-earnings covenant on optimal capital structure and firm value. *SSRN*, 4795584.

Wang, Z., & Nishihara, M. (2024, November). Investment and information asymmetry in corporate sustainability: Incentives-auditing contracts and policy insights. *SSRN*, 5011001.

Jeon, H., & Nishihara, M. (2025, February). Certainty equivalent and uncertainty premium of time-to-build. *SSRN*, 5063104.

[研究報告・研究発表]

Nishihara, M., Shibata, T., & Chevalier-Roignant, B. (2024, June 21). *Effects of a financial covenant on capital structure and firm value*. 13th International Conference of the Financial Engineering and Banking Society, Paris School of Business, France.

Nishihara, M., Shibata, T., & Chevalier-Roignant, B. (2024, July 2). *Effects of a financial covenant on capital structure and firm value*. 33rd European Conference on Operational Research, Technical University of Denmark, Denmark.

Nishihara, M. (2024, September 5). *How do pro-ESG investors affect a firm's investment timing, financing, and sustainability decisions?* 京都大学数理解析研究所研究集会「ファイナンスの数理解析とその応用」, 京都大学.

Nishihara, M. (2024, September 24). *How do pro-ESG investors affect investment timing, financing, and sustainability decisions?* Kyoto Finance Workshop, 京都大学.

Nishihara, M. (2024, November 22). *How do pro-ESG investors affect investment timing, financing, and sustainability decisions?* MENA-ASIA FEBS Conference, American University of Sharjah, UAE.

Nishihara, M., & Kupfer, S. (2025, March 7). *How do pro-ESG investors affect investment timing, financing, and sustainability decisions?* 日本オペレーションズ・リサーチ学会春季研究発表会, 成蹊大学.

[学術賞]

西原理 (2025年3月1日). 日本オペレーションズ・リサーチ学会フェロー, 日本オペレーションズ

ンズ・リサーチ学会.

[学外活動]

日本オペレーションズ・リサーチ学会関西支部 運営委員, 任命権者・日本オペレーションズ・リサーチ学会関西支部長, 2019年4月1日-. (継続)

西村 幸浩

[論文]

Morita, S., Nishimura, Y., & Okoshi, H. (2025, February). Tax reform on monopoly platformer in borderless economy: The incidence on prices and efficiency consequences. *Discussion Papers in Economics and Business*, 25-02-Rev. Graduate School of Economics, Osaka University.

[研究報告・研究発表]

Nishimura, Y. (2025, February 19). *Tax reform on monopoly platformer in borderless economy: The incidence on prices and efficiency consequences*. CORE Brown Bag Seminar, CORE, Belgium.

Nishimura, Y. (2025, February 28). *Tax reform on monopoly platformer in borderless economy: The incidence on prices and efficiency consequences*. 大阪大学経済学研究科経済学研究会, 大阪大学.

西脇 雅人

[研究報告・研究発表]

Nishiwaki, M. (2024, October 20). *How does vertical integration affect the incentive to collude? A study of upstream collusion in vertically related markets*. 日本経済学会秋季大会, 福岡大学.

太田 亘

[研究報告・研究発表]

太田亘 (2024年6月30日). 「日本市場における高頻度取引と情報生産」日本ファイナンス学会 第32回大会, 中央大学.

太田亘 (2024年11月9日). 「ノイズトレーダーと価格クラスタリング」日本ファイナンス学会 第6回秋季研究大会, 九州大学.

大竹 文雄

[著書]

大竹文雄 (2024年6月). 『いますぐできる実践行動経済学：ナッジを使ってよりよい意思決定を実現』東京書籍.

佐々木周作・大竹文雄・齋藤智也 (2025年1月). 『行動経済学で「未知のワクチン」に向き合う』日本評論社.

[論文]

Yamamura, E., Tsutsui, Y., & Ohtake, F. (2024, April). COVID-19 vaccination, preventive behaviours and pro-social motivation: Panel data analysis from Japan. *Humanities & Social Sciences Communications*, 11 (1).

Asakawa, S., Ohtake, F. & Sano, S. (2024, June). The impact of the COVID-19 pandemic on the academic achievement of elementary and junior high school students: Analysis using administrative data from Amagasaki City. *Review Economics Household*, 23, 405–442.

Yamamura, E., & Ohtake, F. (2024, August). Family structure, gender, and subjective well-being: Effect of children before and after COVID-19 in Japan. *Japanese Economic Review*, 75 (4), 611–635.

- Kato, H., Sasaki, S., & Ohtake, F. (2024, October). Adding nudge-based reminders to financial incentives for promoting antibody testing and vaccination to prevent the spread of rubella. *Journal of Behavioral and Experimental Economics*, 113, 102300.
- Mizuno, A., Hirai, K., & Ohtake, F. (2024, December). Know Thy Patient, Know Thy Nudge. *JACC: Advances*, 3 (12), 101390.
- Lee, S. Y., Sasaki, S., & Ohtake, F. (2024, December). Wearing school uniforms in childhood linked with wearing anti-COVID-19 masks in adulthood: An instrumental variable approach. *Education Economics*, 1–19.
- Yamamura, E., Tsutsui, Y., & Ohtake, F. (2025, January). Would monetary incentives to COVID-19 vaccination reduce motivation? *The Japanese Economic Review*. (Online)
- Abe, M., Ohtake, F., & Sano, S. (2025, March). The effects of the calculation class in elementary school on student outcomes. *Journal of the Japanese and International Economies*, 76, 101360.
- [その他]
- 大竹文雄 (2024年4月). 「技術・家庭科 男女共修の長期的影響」 [社会を見る眼 (92)]. 『産政研フォーラム』 141, 32–36.
- 森大輔・大竹文雄・太田匡彦・加藤晋・米村滋人 (2024年4月). 「COVID-19をめぐる政策・法制度」 [法と経済学会2022年度(第20回)全国大会講演報告]. 『法と経済学研究』 17 (1), 79–106.
- 大竹文雄 (2024年6月). 「競業避止条項の禁止?」 [社会を見る眼 (93)]. 『産政研フォーラム』 142, 29–32.
- 大竹文雄 (2024年6月30日). 「人材獲得競争 引き抜き禁止 公取が一石」 [地球を読む]. 『読売新聞』 朝刊, 1–2.
- Ohtake, F. (2024, July 5). To boost economy, reconsider noncompete clauses [Insights into the World]. *The Japan News by the Yomiuri Shinbun*.
- 大竹文雄 (2024年7月10日). 「ナッジ、現在バイアス、参照点…行動経済学でムダをなくす」 [特集 AI時代を生き抜くための事務]. 『中央公論』 138(8), 54–61.
- 大竹文雄 (2024年7月15日). 「「**を控えてください」が効果的でない理由」 [特集 人を促す、人を動かす]. 『心理学ワールド』 106, 16–19.
- 大竹文雄 (2024年11月). 「解雇規制が大量の非正規を生んだ」 [特集 アベノミクス vs イシバノミクス]. 『文藝春秋』 102(12), 125–128.
- 大竹文雄 (2024年12月). 「感染症対策における日本の経済学(者)」 [アステイオン] 101, 26–42.
- 大竹文雄 (2024年12月1日). 「最低賃金 上がっても「雇用減無し」」 [地球を読む]. 『読売新聞』 朝刊, 1–2.
- Ohtake, F. (2024, December 6). A higher minimum wage doesn't have to harm jobs [Insights into the World]. *The Japan News by the Yomiuri Shinbun*, 7.
- [書評]
- 大竹文雄 (2024年4月6日). 「影響力自覚した学間に発展必要」 [今週の本棚・評『経済学オノチのための現代経済学講義』 ダイアン・コイル著 (小坂恵訳), 筑摩書房]. 『毎日新聞』 朝刊.
- 大竹文雄 (2024年5月25日). 「少なすぎる情報が正しい判断拒む実態」 [今週の本棚・評『地域医療の経済学 医療の質・費用・ヘルスリテラシーの効果』 井伊雅子著, 慶應義塾大学出版会]. 『毎日新聞』 朝刊.

- 大竹文雄（2024年7月13日）。「「命と命」の問題と指摘する冷靜さ」[今週の本棚・評『コロナ禍と出会い直す 不要不急の人類学ノート』磯野真穂著, 柏書房]. 『毎日新聞』朝刊.
- 大竹文雄（2024年9月7日）。「意志の弱い人が楽に成し遂げるには？」[今週の本棚・評『努力は仕組み化できる』山根承子著, 日経BP]. 『毎日新聞』朝刊.
- 大竹文雄（2024年10月19日）。「少子高齢化 試行錯誤と淘汰を学ぶ」[今週の本棚・評『十四億人の安寧 デジタル国家中国の社会保障戦略』片山ゆき著, 慶應義塾大学出版会]. 『毎日新聞』朝刊.
- 大竹文雄（2024年11月3日）。「総評：直面する日本の課題 検証」[第67回日経・経済図書文化賞, 受賞5作品を読む]. 『日本経済新聞』朝刊.
- 大竹文雄（2024年11月12日）。「選評」[第46回サントリー学芸賞〔政治・経済部門〕『ジェンダー格差—実証経済学は何を語るか』牧野百恵著, 中央公論新社]. サントリー企業情報>ニュースリリース.
- 大竹文雄（2024年12月7日）。「働き盛り世代でも格差、将来の不安」[今週の本棚・評『就職氷河期世代 データで読み解く所得・家族形成・格差』近藤絢子著, 中公新書]. 『毎日新聞』朝刊.
- 大竹文雄（2024年12月14日）。「2024年「この3冊」／上（その1）『税制と経済学』林正義著, 中央経済社. 『分析者のための行動経済学入門』黒川博文著, ソシム. 『インセンティブの経済学 殖産興業から学ぶ経済学入門』横山和輝著, 新世社」[今週の本棚]. 『毎日新聞』朝刊.
- [学外活動]
- 『行動経済学会誌』編集委員, 任命権者・行動経済学会, 2011年12月1日-. (継続)
- 尼崎市学びと育ち研究所 所長, 任命権者・尼崎市, 2017年4月1日-. (継続)
- 雇用政策研究会 構成員, 任命権者・厚生労働省, 2023年6月1日- 2025年3月31日.

小野 哲生

[論文]

Uchida, Y., & Ono, T. (2024, November). Life expectancy and politics of public education and pension with endogenous fertility. *Journal of Economic Dynamics & Control*, 168, 104995.

大歳 達也

[論文]

Otoshi, T., & Murata, M. (2025, February). Coordinated multi-point by distributed hierarchical active inference with sensor feedback. *Computer Networks*, 257, 110989.

[研究報告・研究発表]

Otoshi, T., Shimonishi, H., Shimokawa, T. & Murata, M. (2024, May 21). *Power efficient edge-cloud cooperation by value-sensitive Bayesian attractor model*. The 4th International Workshop on Intelligent Cloud Computing and Networking (ICCN 2024), Vancouver.

山田翔太・大歳達也・村田正幸（2024年5月30日）。「位置情報を用いた能動推論による基地局間連携ビームフォーミング手法」無線通信システム研究会, 福岡大学.

Nishio, N., Otoshi, T. & Murata, M. (2024, October 23). *Predictive beamforming with active inference in hierarchical codebooks*. The 20th International Conference on Wireless and Mobile Computing, Networking and Communications, Paris.

大歳達也（2024年12月19日）。「位能動的推論によるセンシングと通信の統合型ビームフォーミング制御」無線通信システム研究会, デザイン・クリエイティブセンター神戸.

[学外活動]

電子情報通信学会デジタルプラットフォーム技術特別研究専門委員会 幹事補佐, 任命権者・電子情報通信学会, 2019年4月1日-. (継続)

大屋 幸輔

[論文]

脇屋勝・大屋幸輔 (2025年1月). 「日経225オプションをもとに算出したテールリスク指標について」『JPXワーキングペーパー』46.

[研究報告・研究発表]

Oya, K., Kinoshita, R. & Shintani, M. (2024, August 10) *Frequency-wise causality analysis in infinite order vector autoregressive processes*. Summer Workshop on Economic Theory (SWET), 計量経済セッション, ホテルノルド小樽.

大屋幸輔 (2024年9月3日). 「低頻度データによる実効コストの推定」2024年度統計関連学会連合大会, 東京理科大学 (神楽坂キャンパス).

[学外活動]

現代ファイナンス 編集者, 任命権者・日本ファイナンス学会, 2017年9月-. (継続)

Benjamin Michel Claude Poignard

[論文]

Poignard, B., & Asai, M. (2024, June). Factor multivariate stochastic volatility models of high dimension. *arXiv working paper*, arXiv: 2406.19033. (Online)

Fermanian, J.-D., & Poignard, B. (2024, August). Sparse M-estimators in semi-parametric copula models. *Bernoulli*, 30 (3), 2475–2500.

Lin, Y., Poignard, B., Pong, T. K., & Takeda, A. (2024, October). Break recovery in graphical networks with D-trace loss. *arXiv working paper*, arXiv: 2410.04057. (Online)

Poignard, B., & Terada, Y. (2025, January). Sparse factor models of high dimension. *arXiv working paper*, arXiv: 2307.05952v2. (Online)

Fermanian, J.-D., Poignard, B., & Xidonas, P. (2025, March). Model-based vs. agnostic methods for the prediction of time-varying covariance matrices. *Annals of Operations Research*, 346 (1), 511–548.

[研究報告・研究発表]

Poignard, B. (2024, July 18). *Sparse factor model of high dimension*. The 7th International Conference on Econometrics and Statistics (EcoSta 2024), Beijing Normal University, Beijing, China.

Poignard, B. (2024, July 24). *Sparse factor model of high dimension*. Symposium on World Economics, Finance and Business, InterContinental Singapore, Singapore.

Poignard, B. (2024, September 3). *Break recovery in graphical networks*. 2024年度統計関連学会連合大会, 東京理科大学 (神楽坂キャンパス).

Poignard, B. (2024, September 27). *Factor multivariate stochastic volatility models of high dimension*. TMU Workshop on Finance 2024, 東京都立大学 (丸の内サテライトキャンパス).

[学外活動]

Visiting Scientist, Riken AIP, 任命権者・Riken AIP, 2022年4月1日-. (継続)

Saisawat Samutpradit

[論文]

Samutpradit, S. (2024, May). Employment effects of minimum wages in a dual economy: Evidence from Thailand. *Journal of Development Economics*, 168, 103213.

[研究報告・研究発表]

Samutpradit, S. (2024, July 14). *Urban-rural migration and agricultural production: Evidence from returning family migrants*. Asian Economic Development Conference, Seoul National University.

Samutpradit, S. (2024, August 9). *Me after you: Spousal death and economic adjustments in a developing economy*. 統計実践ワークショップ, Osaka University.

Samutpradit, S. (2024, October 18). *Employment effects of minimum wages in a dual economy: Evidence from Thailand*. Global Minimum Wages Conference, Princeton University.

Dong, X., & Samutpradit, S. (2024, November 30). *Microcredit expansion and education: Evidence from a quasi-experiment in Thailand*. Young JADE Conference, Musashi University.

Hara, H., Kawaguchi, D., & Samutpradit, S. (2024, December 13). *What work from home has brought about: Change in gender attitudes and household roles*. Asian and Australasian Society of Labor Economics Conference, Chulalongkorn University.

Dong, X., & Samutpradit, S. (2024, December 14). *Microcredit expansion and education: Evidence from a quasi-experiment in Thailand*. Asian and Australasian Society of Labor Economics Conference, Chulalongkorn University.

Samutpradit, S. (2025, January 8). *Me after you: Spousal death and economic adjustments in a developing economy*. OSIPP Lunch Seminar, Osaka University.

Samutpradit, S. (2025, February 21). *Me after you: Spousal death and economic adjustments in a developing economy*. International Symposium on Applied Economics, National Chengchi University.

Samutpradit, S. (2025, March 5). *Me after you: Spousal death and economic adjustments in a developing economy*. Ramkhamhaeng Economic Workshop, Ramkhamhaeng University.

Dong, X., & Samutpradit, S. (2025, March 28). *Microcredit expansion and education: Evidence from a quasi-experiment in Thailand*. Joint Economics Symposium of Four Leading Universities in Taiwan and Japan, Osaka University.

[学外活動]

Asian and Australasian Society of Labor Economics 評議員, 任命権者・Asian and Australasian Society of Labor Economics, 2024年6月-8月.

佐々木 勝

[論文]

Higashi, Y., & Sasaki, M. (2024, August). Did COVID-19 deteriorate mismatch in the Japanese labor market? *RIEB Discussion Paper Series*, 2024-29. Kobe University.

[研究報告・研究発表]

佐々木勝 (2024年9月7日). 「スポーツ事故補償に対する保険のあり方」[第2分科会: スポーツ事故補償のあり方について]. 第23回弁護士業務改革シンポジウム, 関西学院大学.

Sasaki, M., Asakawa, A., Shimono, K., Ohura, M., Takahashi, S., & Yamane, S. *The impact of the layout of a meeting room on the productivity and the quality and quantity of information exchanged*. Asian-Pacific Meeting of Economic Science Association.

[学外活動]

労働政策審議会職業安定分科会雇用保険部会臨時委員、任命権者・厚生労働省、2023年4月-。

(継続)

労働政策審議会職業安定分科会雇用対策基本問題部会臨時委員、任命権者・厚生労働省、2023年4月-。(継続)

労働政策審議会労働政策基本部会臨時委員、任命権者・厚生労働省、2023年4月-。(継続)

日本経済学会 理事、任命権者・日本経済学会理事長、2023年5月-。(継続)

佐藤 秀昭

[著書]

佐藤秀昭 (2024年6月). 「担保が企業経営に与えた影響—明治期住友本店の担保金融を事例と

して」金城亜紀・宮坂涉編『担保の歴史経営学（歴史経済学シリーズ）』(第2章). 信山社.

Sato, H., & Kurosawa, T. (2024, December). Historical dynamics of the family system and family business in Japan. In Fernández, P. (Ed.), *Global family capitalism: A business history perspective* (Chapter 9). Routledge.

[論文]

Sato, H. (2024, July). Business groups and the 'big push' concept: Rethinking the dynamics of zaibatsu growth in Japan. *Business History*, 1–18. (Online)

佐藤秀昭 (2025年2月). 「昭和恐慌期大阪府における商工業者の階層分析—『商工資産信用録』からみる商工業者の中階層化」『社会経済史学』90(4), 2–29.

[研究報告・研究発表]

佐藤秀昭 (2024年4月20日). 「『イエ』的経営慣行と“family business”の間」京都大学史的分析セミナー, 京都大学.

Sato, H. (2024, May 7). A short lecture on Japanese business and commercial practices. A short lecture for students from Hong Kong University and Fudan University, 大阪大学吹田キャンパス.

Sato, H. (2024, July 12). Evolving narratives of Zaibatsu: Rethinking big push dynamics in Japan's business Groups. EBHA 2024—Annual Congress of the European Business History Association, Nova School of Business and Economics.

佐藤秀昭 (2024年7月21日). 「近代大阪における保税制度の導入—倉庫不足への対応をめぐって—」[共通論題「物流問題と起業家活動」]. 企業家研究フォーラム 2024年度年次大会, 大阪企業家ミュージアム.

佐藤秀昭 (2024年7月27日). 「三和銀行の新設にかかる銀行合同の合意形成過程—日本銀行と「家」の役割に注目して—」日本金融学会, 早稲田大学.

Sato, H. (2025, February 28). Between the metropolis and the countryside: Demographic and environmental changes in small towns of industrializing Japan. Osaka University GH Seminar / EBH Workshop, 大阪大学豊中キャンパス.

[学外活動]

経営史学会 研究組織委員会、任命権者・経営史学会代表理事、2023年4月1日-。(継続)

椎葉 淳

[書評]

椎葉淳 (2024年10月). 「書評『アイデンティティ業績管理会計—組織コントロール理論の拡張と応用』若林利明著、中央経済社」『産業経理』84(3), 78–79.

[研究報告・研究発表]

Liu, P., & Shiiba, A. (2024, November 25). *Measuring organizational capital and its impact on future performance: An examination of Japanese firms*. Asian Academic Accounting Association, 21st Annual Conference, Hanoi, Vietnam.

中條良美・椎葉淳 (2025年1月11日). 「企業価値評価モデルの展開：残余利益モデルのその後」
日本経済会計学会第5回秋季大会・第40回経営分析カンファレンス, 東北大学.

三輪一統・椎葉淳 (2025年1月12日). 「分権的組織におけるプレアナウンスメントのバイアス
と正確度」日本経済会計学会第5回秋季大会, 東北学院大学.

[学外活動]

Associate Editor, *The Japanese Accounting Review*, 任命権者・Editor, *The Japanese Accounting Review*,
2011年4月1日－. (継続)

日本経済会計学会『ディスクロージャー研究』学会誌編集委員, 任命権者・日本経済会計学会常
任理事会, 2017年2月1日－. (継続)

日本管理会計学会 常務理事, 任命権者・日本管理会計学会常務理事会, 2023年4月1日－. (継続)

鈴木 敦子

[研究報告・研究発表]

鈴木敦子 (2024年6月22日). 「大丸の顧客と競合店—江戸時代の呉服店経営—」箕面市立船場
図書館・市民講座, 箕面市立船場図書館.

鈴木敦子 (2024年10月2日). 「関東で酒を造る近江商人・島崎利兵衛家」古典籍ビジネス講座
—現代ビジネスの源流を江戸期商家の足跡からたどる—, 大阪府立中之島図書館.

鈴木敦子 (2024年11月6日). 「東海で酒を造る近江商人・山中兵右衛門家」古典籍ビジネス講
座—現代ビジネスの源流を江戸期商家の足跡からたどる—, 大阪府立中之島図書館.

鈴木敦子 (2024年12月4日). 「伊丹で酒を造り江戸で売る・小西新右衛門家」古典籍ビジネス
講座—現代ビジネスの源流を江戸期商家の足跡からたどる—, 大阪府立中之島図書館.

鈴木敦子・小西新右衛門 (2025年2月22日). 「研究者と実業家が読み解く「江戸時代の古典籍
に学ぶ、現代のビジネス」」, 大阪府立中之島図書館 クロス講座2, 大阪府立中之島図書館.

[学外活動]

公益財団法人奈良屋記念杉本家保存会 古文書調査員, 任命権者・公益財団法人奈良屋記念杉本
家保存会理事長, 2008年4月1日－. (継続)

企業史料協議会くずし字研究会 講師, 任命権者・企業史料協議会会長, 2013年7月9日－. (継続)
大阪府立中之島図書館くずし字入門講座 講師, 任命権者・大阪府立中之島図書館指定管理者

ShoPro・長谷工・TRC 共同事業体統括責任者, 2024年8月24日－9月25日

竹内 恵行

[研究報告・研究発表]

竹内恵行 (2024年12月27日). 合評会 [Takeuchi, Y. (2023), *History of modern business education
in Japan*. In Kambayashi, N., Hirano, K., & Mitsui, I. (Eds.), *A pioneer of management research and
education in Japan*, Springer, Singapore]. 2024年度現代経営学研究会, 月の栖 热海聚楽ホテル.

[学外活動]

同志社大学嘱託講師, 任命権者・学校法人同志社理事長, 2024年9月21日－2025年3月31日.

谷崎 久志

[論文]

- Ju, L., & Tanizaki, H. (2024, June). Public holidays effects on volatility in Shanghai stock exchange market. *International Journal of Asian Social Science*, 14 (6), 161–169.
- Ju, L., & Tanizaki, H. (2024, October). Bidirectional volatility spillovers between spot and futures markets: A comparative analysis of CSI 300 and CSI 500 indexes. *Business, Management and Economics: Research Progress*, 5, 1–18.

浦井 憲

[論文]

- Urai, K., & Murakami, H. (2025, March). Note on the existence of star refinement. *Communications in Economics and Mathematical Sciences*, 4, 1–5.

[その他]

- 浦井憲 (2025年3月). 「Peirce的な双対性の動的均衡とRFSS方法論における学知のアリティ—2023年度Problem Sessionのまとめとして—」『プロセス思想』24.

[研究報告・研究発表]

- 村上裕美・猪木武徳・浦井憲 (2024年9月21日). 「猪木先生を囲む座談会『「知」の前提から「市場とデモクラシー」に向けて』」数理経済学会方法論分科会・大阪, 京都市立芸術大学.

- Chen, W., Urai, K., Shiozawa, K., & Murakami H. (2024, November 16). *A general equilibrium model for an economy with investment, firm formation, and a stable multi-layered industrial structure*. 数理経済学会研究集会「数理経済学とその周辺」, 関西学院大学大阪梅田キャンパス (K.G. ハブスクエア大阪).

- 浦井憲・長久領壱・守永直幹・砂川和範 (2025年3月21日). 「宗教性について—社会の全体を含めた知という問題をめぐって」数理経済学会方法論分科会・大阪大学方法論研究会, 大阪大学豊中キャンパス.

[学外活動]

- 数理経済学会方法論部会幹事, 任命権者・数理経済学会, 2013年4月1日-. (継続)

- 日本ホワイトヘッド・プロセス学会 理事・会計事務局代表, 任命権者・日本ホワイトヘッド・プロセス学会, 2022年10月1日-. (継続)

上須 道徳

[論文]

- Uwasu, M., Hara, K., Kuroda, M., & Han, J. (2024, June). Assessing the spatiotemporal dynamics of environmental sustainability in China. *Sustainability*, 16 (13), 5322.

- Uwasu, M., Kuroda, M., Fuchigami, Y., & Hara, K. (2024, November). Time framing and SDGs: Can imaginary future generations alter people's perceptions and attitudes? *International Journal of Automation Technology*, 18 (6), 747–753.

[研究報告・研究発表]

- 上須道徳 (2024年11月9日). 「地方創生・地域づくりにおける高等教育機関の役割」日本福祉工学会九州支部大会, 宮崎産業大学.

- 上須道徳 (2024年11月30日). 「サーキュラーエコノミー実現に向けた分野横断的デザイン」エコデザイン・プロダクト&サービス2024シンポジウム, 東京大学.

- 上須道徳 (2025年3月21日). 「フューチャー・デザインとSDGs思考の分析」フューチャー・

デザイン革新拠点公開シンポジウム、大阪大学.

[学外活動]

社団法人北の風・南の雲 理事、任命権者・社団法人北の風・南の雲、2022年4月1日-、(継続)
特定非営利活動法人エコデザイン推進機構・エコデザイン学会連合 理事、任命権者・特定非営利活動法人エコデザイン推進機構、2022年7月1日-、(継続)

渡辺 周

[学外活動]

組織学会 組織科学編集委員会 編集委員、任命権者・組織学会理事、2023年9月1日-、(継続)
組織学会『組織科学』シニアエディター、任命権者・組織科学編集委員会委員長、2023年9月1日-、(継続)

[学術賞]

渡辺周 (2024年9月). 2024年度『組織科学』ベストレフェリー賞、組織学会.

許 衛東

[論文]

魏晶京・許衛東 (2024年12月). 「「新型都市化」政策下における中国の地域間所得格差—「全体居民可支配収入」による省間と省内の格差分析及び人口移動—」『経済地理学年報』71(1), 1-25.

魏晶京・許衛東 (2024年12月). 「中国におけるLED照明産業の拡大過程と日系企業の知財戦略に関する一考察：日亜化学工業の事例とその特色」『大阪大学経済学』74(1・2・3), 23-45.

[その他]

許衛東・趙従勝・魏晶京 (2025年3月). 「中国華南における日本占領期国策開拓事業の歴史的役割について—海南島占領期（1939～45）の国策開拓事業の戦後継承・活用の歴史過程を巡って」『JFE アジア歴史研究助成報告書』2024年度, 43-69.

[学位]

許衛東 (2025年3月25日). 文学博士（論文）、大阪大学.

山本 千映

[学外活動]

日本学術会議 連携会員、任命権者・日本学術会議、2020年10月1日-、(継続)

社会経済史学会 常任理事、任命権者・社会経済史学会代表理事、2021年1月1日-、(継続)

安田 洋祐

[著書]

西田亮介・安田洋祐 (2024年6月). 『日本の未来、本当に大丈夫なんですか会議：経済学×社会学で社会課題を解決する』日本実業出版社.

[論文]

Beviá, C., Corchón, L. C., & Yasuda, Y. (2024, June). Folk theorem under bankruptcy. *Journal of Mathematical Economics*, 112, 102986.

[研究報告・研究発表]

Yasuda, Y. (2024, June 5). Robust exchange for housing markets with preference variability. The Lisbon Meetings in Game Theory and Applications, University of Lisbon.

Yasuda, Y. (2024, August 29). *Two-sided matching with common priority*. The 39th meeting of the European Economic Association and the 76th European meeting of the Econometric Society, Erasmus University Rotterdam.

[学外活動]

総務省情報通信政策研究所「情報通信経済研究会」委員, 任命権者・総務省情報通信政策研究所,
2021 年 4 月 1 日 -. (継続)

Mingqi Ye

[論文]

Zhou, J., Sakiyama, R., Ye, M., & Dahana, W. D. (2025, January). Impact of online food delivery usage on switching costs, variety seeking and marketing exposure. *British Food Journal*, 1–16. (Online)